

日程 2022年8月10日～8月14日
⇒コロナの影響により、8/10・11のみ実施

目的 「バレーボール」と「紫波町」のまち(人・文化・環境)を通して、自分と向き合い、自分とまちを知ること。
長期的には、バレーボールを通じた人材発掘・育成と岩手県・紫波町の関係人口・生産人口の創出を目指す。
⇒コロナの影響により、「バレーボール」を通して自分を知るプログラム「文武両道場」のみ実施

開催地 岩手県紫波郡紫波町

参加者 岩手県内高校生・大学生:33名
(盛岡大学、紫波総合高校、宮古高校、岩手女子高校、owlsアカデミー(中学生))
⇒コロナの影響により、岩手県内の高校生・大学生のみで実施

<参加企業>
みちのくコカ・コーラボトリング(株)、トヨタL&F岩手(株)、医療法人仁泉会みやぎ健診プラザ、(株)ベアレン醸造所、岩手トヨタ自動車(株)

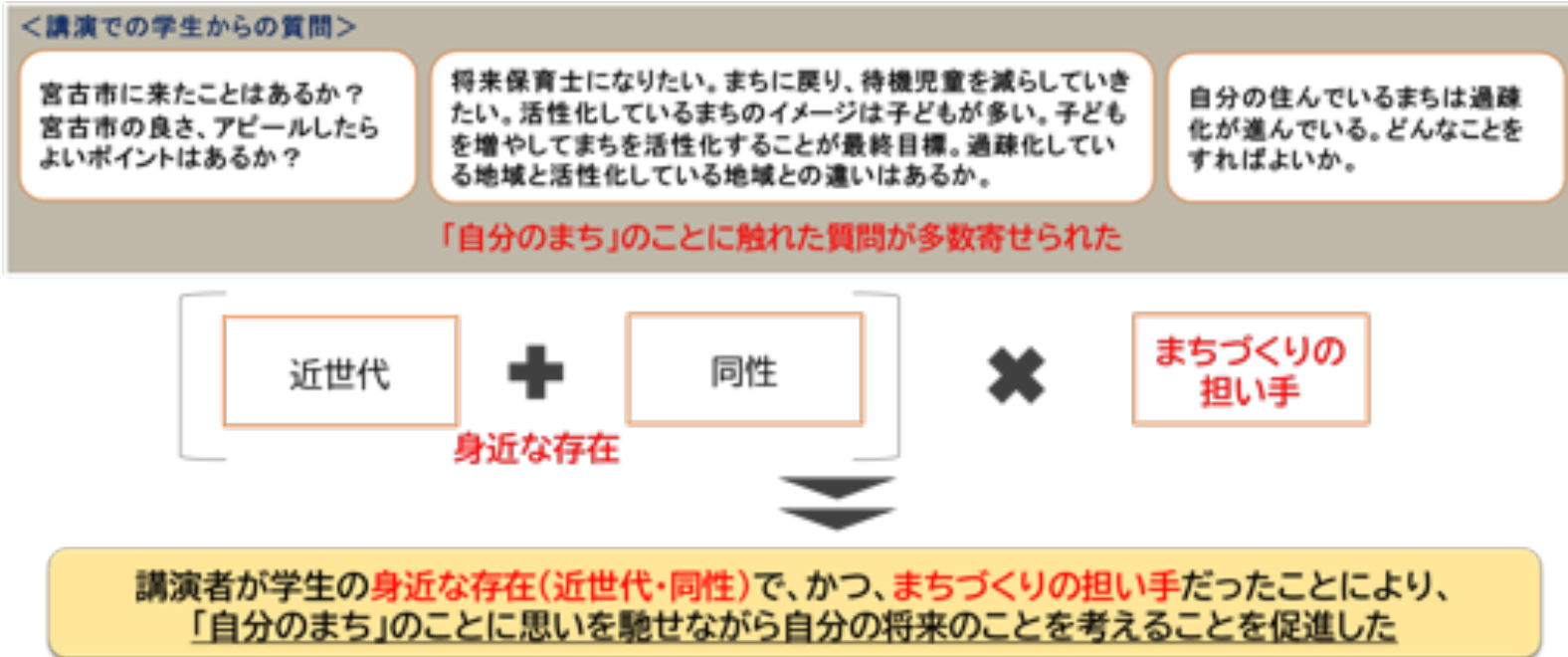


実施スケジュール



成果

～地域おこし協力隊の講演～



～道場での学び・自分に対する気づき～

私自身、どんなバレーがしたいのか分からなかったが、今回チームのみんなのおかげで私が「勝利」にこだわっていて本気でバレーに取り組みたいと思っていることが分かった。
部活では、自分がやればいい、一人でもできるから大丈夫、そう思っていつも一人でいろいろやっていたけど、文武両道場では遠慮することなく「こうしたい」などコミュニケーションをとれたりした。部の監督から言われてきた『試合に必要な声掛け』『チームへの貢献』『自分にしかない色』を知ることができた。

最初は知らない人に囲まれてバレーするのか・・・と不安しかなかったが、久しぶりに「バレーってこんなに楽しいスポーツなんだ！」と実感できた。また部活へのモチベーションも上がった。

チームをつくる時、勝つための意思表示は言葉だけではないことを他の学校のチームメイトから学んだ。行動やプレイで表現してそれが伝わればチームのやる気に繋がることを知った。

いつもと違う環境でバレーボールをして、自分と向き合うことができた。自分の良いところを教えてもらうことができた。常に笑顔でポジティブ思考でいることが大切だと学んだ。

普段の部活では、周りに迷惑をかけないようにしないと思ったり、自分が邪魔になっていると思ったりすることが多くネガティブになりがちだったので、初めて会う人と気を使いすぎずに過ごせるか不安だったけど、本当に楽しくバレーをすることができた。